

学科 学年	D 2	科目 分類	プログラミング入門 [プロ入] Introduction to Programming	演習 必修	後期 1単位	学習教育 目標 B	担当	牛丸 真司 USHIMARU Shinji 大庭 勝久 OHBA Katsuhisa
概 要	はじめに、C G I 言語の一つとして広く使われている、インタプリタ型言語である Perl によるプログラミング学習を行い、Perl そのものの利用法を習得すると共に、プログラミングのセンスを身に付ける。後半では、演習を通して C 言語の基礎概念の理解と初歩的なプログラミング技術を習得する。 P C での演習を中心とし、実践的な応用力を身に付ける。 授業ごとに、適切な量の演習課題を出し、課題の提出を課する。							
科目目標 (到達目標)	(1) Perl のプログラミング技法 (2) C 言語のプログラミング書式 (3) コンソールと入出力 : scanf, printf, アスキーコード, getchar, putchar (4) 制御構造 : if else 文, for 文, while 文など (5) 配列 : 一次元・二次元配列の宣言と初期化およびデータ入力							
教科書 器材等	「入門ソフトウェアシリーズ1 C 言語」河西 朝雄 著 (ナツメ社) Perl に関するプリント							
評価の基準と 方法	前期中間試験 4 0 %、前期期末試験 4 0 %、課題レポート 2 0 % として評価する。 6 0 % 以上を合格とする。							
関連科目								
授業計画								
第 1 回	演習室のプログラミング開発環境 : インタプリタとコンパイラ、エディタ							
第 2 回	Perl 入門 1 : 変数、配列、標準入出力							
第 3 回	Perl 入門 2 : 制御構造							
第 4 回	Perl 入門 3 : 標準入力、ファイル入出力							
第 5 回	Perl 入門 4 : 文字処理、正規表現							
第 6 回	Perl 入門 5 : 関数定義							
第 7 回	Perl 実践プログラミング : 成績処理プログラムの作成							
第 8 回	後期中間試験							
第 9 回	C の基本的なきまり : C 言語とは、データ型と型宣言、C 言語プログラミング書式							
第 10 回	コンソールとの入出力 1 : ディスプレイへのデータ出力、出力桁数の指定							
第 11 回	コンソールとの入出力 2 : キーボードからのデータ入力、文字とアスキーコード、文字列の入出力、1 文字単位の入出力							
第 12 回	制御構造 1 : 制御構造と構造化プログラミング、条件判断							
第 13 回	制御構造 2 : 繰り返し、選択と分岐							
第 14 回	配列 : 配列の宣言、配列データの初期化、二次元配列							
第 15 回	後期期末試験							
オフィス アワー	授業実施日の 15:00 ~ 17:00、試験の前 1 週間は曜日を問わない。							
授業アンケート への対応	板書をした後、少し間をおいて説明するように心掛ける。							
備 考								